

平成20年第2回定例会（平成20年6月26日）

議案第12号 枚方市学習環境整備PFI事業に係る事業契約締結に対する質疑

○堀井 勝議員 大変お疲れのところ、申し訳ありませんが、若干質問をさせていただきたいと思います。

ただいま上程されております議案第12号 枚方市学習環境整備PFI事業に係る事業契約締結について、できるだけ重複しないように質問をさせていただきます。

この問題は、去る平成18年9月より、可能性の調査を実施をされた結果、全校一斉整備が図れ、事業費の縮減や財政支出の標準化とあわせて良好な学習環境の整備が可能であるということが確認されたことにより、平成19年2月20日の文教委員協議会に初めて報告されたと記憶しております。

その時点では、空調設備は75校、2,024室、41億5,200万円、校内緑化については、緑のじゅうたん（1,000平方メートル）、緑のカーテン（各校6教室分）、植樹と、こういうことで、この費用が2億3,200万円、合わせて43億8,400万円の内訳が提案されたわけです。

その後、平成19年6月1日の文教委員協議会に、事業の概要やスケジュールなど、これの実施方針がまとめられて報告されました。それによりますと、空調設備、第三中学校を除く74校、2,001教室、そして校内緑化は先ほど申し上げた同様のものですが、すべての整備費用は41億円、それから、維持管理等の費用が12億5,000万円、概算合計で合わせて53億5,000万円という内容が報告されました。

私が聞きたいのは、第三中学校、1校がこの対象外となるだけで、整備費用が2億8,400万円も少なくなるわけですが、それはどういう理由かということをお尋ねしたいと思います。

なお、この問題は、去る平成19年12月4日の文教委員協議会に経過報告があり、この時点では、入札参加グループが2グループに満たなかったという理由で、10月30日付で入札を中止された旨の報告がありました。また、今後の事業者決定に向けてのスケジュールもあわせて報告をされ、今日に至っています。

2点目は、複数グループができなかった主な理由についてお尋ね致します。

3点目は、今回契約締結しようとするグループは、その時点でも参加していたグループかどうかということをお尋ねいたします。

4点目は、平成19年7月4日、第1回枚方市学習環境整備PFI事業審査委員会が始まり、本年3月25日で第7回の審査委員会が開催されてきたわけですが、お尋ねしたいのは、この審査会は非公式だったのか。なぜ非公式にする必要があるのかということでございます。

5点目は、その都度の報告がなされなかった理由は、どういうことか、お尋ねいたします。

6点目は、昨日、資料要求があったので、配付されてきたこの審査委員会議事録

によりますと、第2回審査委員会で配付された落札者選定基準だけが、これも議会から要求があったからという理由で、去る18日に配付されましたが、この第2回審査委員会で各委員に配付された入札説明書、それから要求水準書、入札価格の算定及び価格の支払方法、基本協定書(案)、それから事業契約書(案)等々は、非公開だったのかどうか。先ほどお聞きすると、ホームページに出させてもらってるということなんですが、我々の手元には一向に届いてないように思います。

7点目は、去る6月4日、文教建設両委員協議会で報告されました民間事業者を選定したので、客観的な評価の結果を公表するとして、審査講評が初めて提示されました。審査結果表を見ますと、維持管理に関する項目及び運営に関する項目、それから総合評価に関する項目など、配点に対する評価点がほとんど半分しかないというように思うわけですが、これは何を意味しているのか、お尋ねしたいと思います。

8点目は、本市が設定したそれぞれの具体的要求水準書に示された性能、仕様の具体的内容についてお尋ねをいたしたいと思います。

9点目は、けさほどから落札率が99.8%とか言われておりますが、本市が設定した予定価格の具体的内容と仮契約された金額ですね、その具体的な内容をお示しいただきたいと思います。

最後になりますが、PFI事業契約書に定める設計業務が完了した後に、空調設備等の性能や仕様、そして施行業務、維持管理業務、それから運營業務の具体的内容が決定されるのは具体的にどういう内容か。

また、契約書に定める設計業務はいつごろ完了するのか。

以上、10点について、お尋ねをいたします。

○寺農 齊公共施設部長 質問に順次お答えします。

まず、三中を対象外にしたことにより2億8,000万円の減になるのかについてでございます。この額の違いにつきましては、平成19年2月にお示しした価格は、可能性調査段階の概算金額であり、その後、教室数もあわせて精査した結果、全体金額に差が生じたものでございます。

次に、審査委員会が非公開になった理由につきまして、民間事業者及び提案内容に関する情報が公になることにより、民間事業者の競争上、もしくは事業活動上の地位、その他正当な利益を害し、または契約に係る事務に関する本市の財政上の利益を不当に害するおそれがあるため、枚方市における審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、非公開とされたものです。

審査委員会のその都度の報告がなかったとされることにつきましては、審査委員会の審議は、グループの比較をしながら、最終的に落札者を決定するもので、結果を審査講評としてお示しさせていただいたものです。

次に、御指摘の入札説明書等はすべて本市ホームページにより公開しているものでありますが、落札者選定基準を配付させていただいたのは、審査の方法をより理解していただくよう考えたものでございます。

次に、評価点がほとんど半分しかないということについてですが、採点につきま

しては、提案された内容を5段階で評価するものとしており、普通で評価した場合に配点の50%となることから、このような評価点になっているものでございます。

次に、要求水準書に示された性能や仕様は何かについてでございますが、要求水準書で示している性能や仕様の具体で、そのうち空気調和設備などの設計業務では、いわゆる設定温度や稼働条件等であります。この要求水準は多岐にわたるものであります。

次に、契約書に設計業務が完了した後に仕様や運營業務の具体内容が決まるということについてでございます。設計業務が完了した後に決定される性能や仕様、施工業務などの具体的な内容は、事業者の提案に基づき機種や施工方法、維持管理の方法です。

また、設計業務完了時期は、各々の設計業務や施工と並行して行う予定でありますので、現時点では明確ではありません。

以上でございます。

○横田 進財務部長 財務部に係る御質問にお答えをいたします。

まず、複数グループは参加できなかった理由についてでございますが、1回目の入札では、地域要件を外すなど、より広く競争生を高めるようにしてまいりましたけれども、結果として2グループの応札があり、入札参加資格確認書類及び事業提案書が提出されました。しかしながら、資格審査の結果、提出すべき書類の不備のため、1グループが失格となり、入札参加グループが1グループのみとなったことから、入札を中止したものでございます。

次に、今回、契約締結しようとするグループは、その時点で参加していたグループかということにつきまして、お答えをいたします。

今回のグループ名と同一名称ではありませんが、代表企業が同一であるグループは1回目の入札にも参加をしておりました。

次に、予定価格の設定につきましては、本市の定めた入札価格の算定及び対価の支払方法に基づき、整備費用割賦手数料及び維持管理費用等の合計から課税対象分を除いた額、51億356万9,000円が予定価格となります。その内訳ですが、整備費として36億1,940万4,000円、維持管理費用として9億9,970万9,000円、運営経費として2億8,670万6,000円、割賦手数料として1億9,775万円となります。

仮契約の金額は、消費税込みの額で51億7,464万8,800円となります。

予定価格に対する入札価格の割合を計算しますと99.8%となりますが、本案件は価格以外の要素も含めた総合評価方式により落札者を決定しておりますので、価格競争による落札率とは意味合いの異なるものでございます。

○堀井 勝議員 2回目の質問をさせていただきます。

審査委員会が非公開である。これは確かに民間業者の競争上、また事業活動上、具合悪いという面も、中にはあるかと思いますが、すべてがそうではないというように思います。50億円の市民の税金を使うわけですからできるだけ公開をすべきだというように思います。

「本市にとっての財政上の利益を不当に害する」というような、御答弁が、今あったわけですが、このことについては、私は理解ができない。理事者の皆さんが選ばれた学者や、役所の管理職、幹部の方は信頼できるから審議会で何を論じておろうとかまわない。しかし、我々市議員は何を言うかわからんから非公開にすると言うのでは本末転倒じゃないかと思います。一般競争入札であれば、電子入札とかで決まるわけですから、余り問題ないと思いますけども、こういう議論をして決めるという事業は、その議論の過程というのが大変大事であろうというように思いますので、これはぜひ公開すべきだというように思うわけで、再度質問をさせていただきます。

それから、入札説明書であるとか、また、先日頂きました落札選定基準とか、いろいろ審査に必要な書類が市から出されてるわけです。こういったものが我々の手元には一向に届きません。過去、「建設でも、文教でも、また総務でも、常任委員協議会がやられていると思うんですけども、その時々、このPFI事業ではこういうものをもって、こういう議論をしていただいております」というようなことが一向に報告されていない。ホームページではなるほど公開しておられるかもわかりませんが、そういうことが我々にもきちっと、その時点での進捗状況を連絡いただかなければならないのではないかなというように思います。その点について、どうお考えか、お尋ねをいたします。

それから、3点目は評価点ですけども、ほとんど維持管理の評価点が半分以下ということになっています。私は、維持管理の方がもっともっと大変じゃないかというように思うわけです。これから13年間、維持管理していただくわけですが、この辺がどうも手抜きになっていないかというように思うわけですが、この点を今後どうされようとしていくのか、お尋ねをしたいと思います。

それから、本市の予定価格額は51億356万9,000円、それに対して消費税込みの額で51億7,464万8,800円という、落札率99.8%になると言われました。いろいろ積み上げていって、そういうふうになっていると思うんですが、もう少し具体的に、本市が水準として出されて積み上げられた結果がこういうことだということでないか、どうもつじつま合わせとしか私には聞こえてこないわけです。どのようにお考えか、お尋ねをいたします。

それから、要求水準に示された性能や仕様について、空調は設定温度や稼働条件等で決めるということなのですが、例えば緑のじゅうたんですと、芝を敷く場合に、どれぐらい土を削って、芝の下にどれぐらいの、どういう内容の土を入れるのかによって価格が随分変わると思うんです。また、樹木はいろいろありまして、1本1,000円ぐらいから20万円、30万円もするような樹木もあります。そういったものがこの予定価格の中に、また、仮契約の中でどういった内容になっているのか、本当にそれらしきものが植樹されるのか？また、それらしき工事がされるのか、また、緑のじゅうたんの中で、A社については天然の水を地上でためるようになっているけれども、B社の方は地下にためるようになっている。これが何とすばらしいとかいうような評価が出てますが、これは、どこにそういう工事によって地下に水をため

るものを造るのかという具体性が何もない。我々は、こういうものを造りますということだけ聞かされているだけで、その工事費がどれぐらいかかるのか、そういったものを積み上げていって、この契約金額になるのかどうかということもわからない上に、そういったことがほとんど我々に示されないままに、今、この契約案件を審議しているわけです。

従って、そういったことをもっと行政の方も親切に説明をし、我々が、「これなら間違いはない」と言えるような資料をちゃんと出してもらって、審査をさせていただくということでないで、「今の状況の中で審査を」と言われても、これは大変難しい。特に、朝から何回も皆さんが、言われていますように、本市は昨年、東部の清掃工場の建設をめぐって、汚職事件がございましたから、これが50億円でなく、たとえ100万円の工事であっても、そこに何か不信な点があれば、工事全体に及ぼすわけですから、こういったことも十分、私たちも気をつけていかなければならないし、当然行政の方も気を付けていかなければならないと思いますが、この点について、どうお考えなのか、お尋ねをいたします。

○寺農 齊公共施設部長 まず、審査委員会の公開の件でございます。

審査委員会が非公開になった理由につきましては、いわゆる民間事業者及びその審査会の内容が提案内容に関する情報が多いということになります。そういったことで、いわゆる民間事業者の競争上もしくは事業活動上の地位、その他正当な利益を害するというような観点から、いわゆる審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして、非公開と、審査委員会の方で定めたということでございます。

次に、資料についてでございます。

御指摘の資料につきましては、事業者が入札に用いる書類が主な書類でありますから、議員にお示しする資料の在り方について、ホームページには載せておるんですけれども、その在り方について、今後不備がありましたら、気を付けていきたいと、こう考えています。

次に、評価点の維持管理についての配点の問題でございます。

評価点の維持管理について、維持管理が大事だ、配点が低いということだと思いますが、やはり今回のPFI事業につきましては、その大半が空調設備ということが主要な項目でございます。その辺についてはちょっと配点を厚くしてございます。維持管理の配点につきましても110点の配点を考えてございます。

これに基づいて今後どうするか。いただいた提案内容の履行等、やはり今後13年間に及ぶ維持管理も含めてございますので、きっちりと市の方で管理をしていきたいと。モニタリングも当然実施をさせていただきます。そういったことで進めていきたいと思っております。

次に、緑のじゅうたん、芝生の貼り付けについて、グラウンドを10センチから15センチ掘り下げて、土壌改良を行い、張り付けると。植樹につきましては、学校の要望される木を植樹していきます。

Bグループは、雨水利用タンクを地下に埋設し、雨水の有効利用を図ってまいります。タンクの設置場所は現在調査中でございます。

以上でございます。

○**横田 進財務部長** 入札金額と今後の契約金額との流れについて、少し御説明をさせていただきますと思います。

今回の業者の入札額は50億9,500万円、これは当初消費税が2億4,258万7,800円見込まれておりましたので、税込み金額で申し上げますと、53億3,758万7,800円、これが本来の契約金額となる予定でございました。しかしながら、本市のいわゆる公的資金を投入するという事で、当初、11億1,803万7,000円から5億円まで、その割賦の元本が減少してきましたので、それに関連した割賦手数料、いわゆる利率の部が減少いたしました。当初の予定で行きますと、1億9,754万4,000円から3,460万5,000円、いわゆる1億6,293万9,000円減少をいたしました。いわゆる入札金額から想定した消費税込みの額で53億3,758万7,800円の契約予定が、本市の導入をすることによって、消費税抜きで申し上げますと、50億9,500万円が49億3,206万1,000円になり、消費税を込んだ額、いわゆる51億7,464万8,800円が契約金額となったものでございます。

○**堀井 勝議員** 最後に、市長さんにお尋ねをしたいんですが、先ほども述べましたように、こういった審査会ですね、確かに非公開にしなければならないところもあるでしょう。しかし、すべてが非公開でなければならないというような問題ではないと私は思います。やっぱり開かれた枚方市役所を目指し、是非、公開に取り組んでいただきたいと思いますが、いかがお考えですか。

それから、議論に必要な資料のほとんどが、我々の手元に届いていない。これは行政側の不備じゃないですか。ぜひそういったものも届けていただけるようお願いをしておきたいと思います。

最後になりますが、私たちは、平成13年から東部の清掃工場問題、また旧外大問題に取り組んできたわけです。いろいろ問題が起こった昨年、この場から、「1点の曇りもありません」と言われたけれども、本当は本曇りで真っ黒けの曇りであったという苦い経験があります。ですから、そういったことのないように、今回のこのPFI事業について、一切そういうことがないということを、市長さんは断言いただけますか。いかがですか。それをお尋ねして私の質問を終わらせていただきたいと思います。

○**竹内 脩市長** 3点の御指摘に対しまして申し上げます。

まず、今回のこのPFI事業につきましては、先ほど来お答えしておりますように、それぞれのグループがそれぞれのグループの持つ専門的な知見を総動員し、そして、それは金の箱ということになるわけですが、それを持ち寄って、そして、提案をしてきたわけでありまして。そのことについて、私ども金額的な意味でも定量的側面と、その政策的な効果を実現するという意味での定性的側面という、その二つの項目に分けてそれぞれの視点について評価していくという、そういう審査会であります。

そういうことでありますので、先ほど来部長がお答えしておりますように、今回

のこの案件につきましては、非公開で対応することが、本市の審議会での公開に関する指針におきましても、私は適切な判断であったと思っております。

それから、2番目において、本事業の審査基準であるなり、それぞれの局面における資料が市会議員の皆さん方にお届けしなかったということにつきましては、これにつきましては、大きな政策の方針につきましては、市議会で十分御議論させていただいて、その上に立って方向を決めていただいて、私ども、それをどのように現実的に執行していくのかということを進めさせていただいております。そういうことでございますので、今回につきましては、個々の議員の方々に、それぞれの局面における具体的な資料につきましては、お届けをしなかったものであります。

なお、3点目の1点の曇りもないという話でございますが、私は、だれがどういう局面でそういう発言をしたのかは存じておりませんので、これについては何とも言えませんが、今回につきましては、市役所挙げて適正に事務を進めております。

以上です。